

議 会 だ よ り

平成30年第4回定例会

小学校のエアコン整備予算等可決！

平成30年第4回定例会は、12月6日招集され、14日までの9日間の会期で開催されました。今期の定例会では、4名の議員が町政について一般質問をおこないました。

なお、可決された案件の概要及び審議結果は次のとおりです。

条 例

◆吉野町課設置条例の一部改正【可決】

社会情勢の変化、多様化する住民ニーズ及び行政課題に対応し、効率的で効果的な事務執行体制を推進するための関係各課の事務の見直し。

- ・産業観光振興課を「産業振興課」と「文化観光交流課」に再編(31.1.1～)
- ・文化財の保護、活用、調査及び指定に関する事務を「教育委員会」から「文化観光交流課」に移管(31.4.1～)

◆吉野町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正【可決】

人事院勧告を受け国家公務員の給与が改定されることから、町一般職の職員の給与を国家公務員の給与に準じたものとする。

◆吉野町老人福祉センター条例の一部改正【可決】

中荘温泉の改修工事に伴い、「和室」を「多目的室」に名称変更すると共に使用料を改める。

予 算

◆平成30年度一般会計補正予算(第5号)【可決】

- ・補正規模 1億2,522万7千円
- ・予算総額 64億36万円
- ・主な歳入 ▶文化財保存事業費国補助金(3,500万円)、▶文化財保存費県補助金(750万円)、▶県知事・県議会議員選挙費委託金(599万4千円)、▶世界遺産・吉野ふるさとづくり基金繰入金(2,235万円)、▶中央公民館耐震化事業債(3,100万円)、▶文化財災害復旧事業債(1,250万円)
- ・主な歳出 ▶県知事・県議会議員選挙準備(599万4千円)、▶障害者総合支援事業(607万9千円)、▶新たな「吉野山観光周遊システム」の構築・推進事業支援業務委託料(550万円)、▶吉野山交通・環境対策協議会貸付金(400万円)、▶小学校空調設備事業(1,960万円)、▶中央公民館耐震事業(3,100万円) ▶吉野大峯奥駈道災害復旧工事等(5,500万円) ▶人事院勧告等による給与改定等の職員給与費(112万5千円)

・債務負担行為 ▶新たな「吉野山観光周遊システム」の構築・推進事業支援業務委託料 (期間=H31年度・限度額=1,670万円)

・地方債 ▶文化財災害復旧(1,250万円)追加、▶防災設備整備(220万円)追加、▶中央公民館耐震化整備(2億4,420万円)限度額変更等

◆平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)【可決】

- ・補正規模 106万5千円
- ・予算総額 13億5,206万5千円
- ・主な歳入 ▶保険給付費等交付金(548万6千円)、▶一般会計繰入金(△559万7千円)、▶財政調整交付金(117万6千円)
- ・主な歳出 ▶国民健康保険情報システム更新及び特別調整交付金申請委託料(64万5千円)、▶出産育児一時金(42万円)

契 約 締 結

◆(旧)ふるさと解体工事請負契約の締結【可決】

- ・契約方法 一般競争入札
- ・契約金額 42,552,000円
- ・契約の相手方
株式会社中川組
代表取締役 中川 茂宣 (橿原市飯高町)

決 議

◆さくら広域環境衛生組合からの脱退を求める決議【可決】

- ・提出議員 西澤 巧平 議員
- ・賛成議員 中西 利彦 議員

要 望 等

◆吉野山交通・環境対策協議会会長 東 利明 氏 他2名からの「観桜期代替バス運営費用補填に関する要望書」【採択】

そ の 他 案 件

- ◆常任委員会の閉会中の所管事務の調査【可決】
- ◆議員派遣【可決】

一般質問

次のとおり一般質問がおこなわれ、町長、副町長及び担当参事等が答弁を行いました。

◆ 薮坂 眞佐 議員から

- ・一歩進んだ防災政策を求める
- ・吉野町の魅力を高めるための農業政策について
- ・町民みんなが情報共有できる民主的で開かれたまちづくりのために

◆ 下中 一平 議員から

- ・吉野山観光周遊システムの構築と推進について
- ・吉野ビジターズビューローについて

◆ 山本 義史 議員から

- ・吉野町役場庁舎の災害対策本部機能について
- ・「新たな吉野山観光周遊システムの構築・推進への決議」に対するその後の経過について

◆ 上滝 義平 議員から

- ・第4次吉野町総合計画の進捗状況について
- ・窓口の受付業務及び行政職員の対応について
- ・介護保険料と国民健康保険税について

一目でわかる審議結果

【○=賛成 ●=反対 欠席=— 棄権=△】

種別	議員名 議案名と内容	議決結果	下 中 一 平	上 佳 宏	山 本 義 史	中 井 章 太	上 滝 義 平	山 本 隆 敏	薮 坂 眞 佐	中 西 利 彦	西 澤 巧 平	野 木 康 司	
条例	吉野町課設置条例の一部改正	可決	○	●	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	
	吉野町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	全 会 一 致										
	吉野町老人福祉センター条例の一部改正	可決	全 会 一 致										
予算	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	可決	全 会 一 致										
	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	全 会 一 致										
契約	(旧)ふるさと解体工事請負契約の締結	可決	全 会 一 致										
決議	さくら広域環境衛生組合からの脱退を求める決議	可決	全 会 一 致										
要望	観桜期代替バス運営費用補填に関する要望書	採択	全 会 一 致										

吉野町課設置条例の一部改正に関する意見の要旨

上滝 義平 議員【反対】

人口の減少にともない、行財政改革を優先しなければならない時に、課を増設して課長を置くということは、税金の無駄使いに他ならない。現行のままで、親切・丁寧な対応が出来る様に、各課で勉強していただきたいと思います。

山本 義史 議員【賛成】

現在の産業観光振興課の業務範囲が、年々大きくなり、多様化している為、産業振興部門と観光交流部門の2つの課に分け、各課長が責任を持って業務の遂行にあたるのが良いと考えました。

薮坂 眞佐 議員【賛成】

吉野町は観光で全国に打って出ている。しかし、業務が多岐にわたり、農業関係等、急な判断を要する場面も多い。2つの室なら室長の権限を引上げ、決定権が必要となる。室長の上に課長という二重構造でなく、2課の方がスピードがあり合理的である。

上 佳宏 議員【反対】

議会、教育委員会を除けば現状8課である、課を分割し管理職員を増やす行為に反対する。室として対応すべきである。またこの様な行為は財政面からも住民の賛同を得られない事から反対します。

中井 章太 議員【賛成】

行政課題や新たな地方創生事業が多様化する中、より専門的な能力と人材が求められる。吉野ビジターズビューローがDMOとして、役割を果たしていこうとしている今、組織体制を見直し、産業と観光が直面する課題に対応できる人材と能力を高めてもらいたい思いから賛成する。

